

JNHS中間報告

「女性の生活習慣と健康に関する疫学研究JNHS」

—対象者募集開始から5年経って—

群馬大学医学部保健学科医療基礎学

林 邦彦

「女性の生活習慣と健康に関する疫学研究（JNHS：Japan Nurses' Health Study）」は、25歳以上の女性の看護職有資格者を対象に行われている前向きコホート研究である。2001年末から開始した対象者募集は、日本看護協会、47都道府県看護協会、助産師教員グループなどのご協力のもと、現在も継続して行われている。日本更年期医学会の一部会員にも、関連医療機関の女性看護職を対象に、研究概要の説明と応募依頼のご協力を頂いた。なお、研究費用は、日本学術振興会科学研究費補助金、日本更年期医学会 JMS Schering Grant、赤枝医学研究財団JNHS寄付金などの援助を受けている。

わが国の既存の大規模コホート研究と比べたとき、JNHSは次のような特徴をもつ。(1) 女性のみを調査対象として、女性ホルモン剤使用やリプロダクティブ・ヘルスなど、女性固有の健康問題に焦点をあてた研究である。(2) 25歳以上の年齢条件のもと、幅広い年齢層の女性を対象にしており、各ライフ・ステージの健康問題を調査できる。(3) 同一対象者に2年に一度の追跡調査を行い、新たな疾患発生の状況とともに、保健習慣・生活習慣の長期的な変化を把握している。(4) 医学知識を有するナースを対象とし、薬剤写真付リストを同封するなど、自記式郵送調査で正確な情報収集を行っている。

今まで収集された約5万人のベースライン調査データをもとに、対象集団の特徴を紹介する。